

ここが聞きたい
一般質問!

「一般質問」とは

町の行財政全般にわたって、執行機関(町政)に対し、一般事務や将来の方針などについて質問し、所信を求めることです。町民の生活に関わる身近なことが、議員の一般質問により、改善されたり新たな事業が始まったこともあります。議員は年4回の定例会で一般質問をすることができ、定例会開会前にあらかじめ質問内容を提出し、執行機関が答弁を考えます。質問する議員一人につき60分の持ち時間があり、その時間内であれば何回でも質問を繰り返すことができます。全文詳細はHPに後日会議録として掲載されますので参照ください。

第1回定例会一般質問(3月8日(金))

荒牧 弘敏 議員

東九州道と連結、直売所の検討は

永野開発交流推進課長

基本方針から変更なく連結はない



岡山さわやか市大平、道の駅しんよしの今後の売り上げを伸ばすのは難しいのではないかと先を見据えた考えは。永野開発交流推進課長 今後は第一段階の方針として、東九州道との連結は考えていない。今後、農商工の関係機関などの意見を聞く機会を設けたいと考えている。

防犯カメラの監視カメラの設置は

岡防犯・監視カメラの増設、また今後の計画は。岡崎総務課長 平成30年度の増設はないが、平成31年度の計画は11施設24台を設置する。



岡町内の主要な交差点は。岡崎課長 警察との協議が必要で、かなり厳しいガイドラインなどがあり、時間を要すると考えられる。

農業振興は

岡第2次総合計画の農林水産業(平成29・30年度)の振興について、担い手の確保の進捗状況は。岡入課長 担い手の確保では、現時点で認定農業者数は58名、内法人12組織であり、新規認定者数は平成29年度4名、平成30年度は0名である。

岡新規就農者は。岡入課長 新規就農者は年1名の目標だが、2年間の就農者はいない。営農組織の経営診断を今年度は3組織行った。今後、全組織を行い、構成員・オペレーターの年齢などを把握し、後継者の育成や営農組織への新規就農者の獲得制度につなげて行きたい。

岡生産性・収益性の高い農業は。岡入課長 園芸作物の推進では、パイプハウスの建設が2年間で2件あり、品目は、キュウリ、アスパラガスである。今後は京築地区農業振興計画にも沿って振興し、生産性・収益性の高い農業を進めたい。

岡ブランド化と販路拡大は。岡入課長 川底柿の干し柿と上毛産米のブランド化に取り組んでおり、干し柿は、福岡市の大手デパートで2月上旬に試験販売を行い、非常に好評で次年度以降の販売に

生産調整		
	平成30年度計画	平成31年度計画
転作率	47.8%	48.1%
転作面積	448.3ha	448.0ha
実績率	51.7%	
面積	482.5ha	

岡上毛産米品質は。岡入課長 上毛産米は、食味コンクールで金賞受賞に向けたモデル事業として、3年間取り組みを行い、現在2年目である。全国的にはかなり差があるが、今後も金賞受賞に向け引き続き努力する。

岡生産調整の平成30年度の計画と実績 平成31年度の計画は。岡入課長 次の表のとおりである。

繋がった。

友岡 みどり 議員

思いやりある行政施策の展開を

堀企画情報課長

重要業績評価指数を定め事業展開

岡九州一輝く町と、将来人口目標一万人構想は疑問に思う。日本全体のパイが減少をたどる一方、人口増加、現状維持を他の自治体も策を練っている状況にある。ハード面だけの政策ではなく、思いやりのある人づくりが大切であるが具体的施策は。堀企画情報課長 人口ビジョン政策を加速させ、町民の豊かな生活利便性を配慮したイメージ戦略でブランディングを行う必要がある。大池公園整備、商業施設、工場誘致、良質な住宅整備など重要行政評価指数を定め事業展開をする。

行財政運営の効率化は

岡行財政の効率化を目的に職員少数精鋭で人件費抑制を図り、多様化する住民ニーズに対応するため定員適正化計画が策定されると思うが進捗状況は。岡崎総務課長 27年度までは計画どおり進捗しているが、その後は計画どおりにはいっていない。29年度は、国の事務移譲などを考慮した第二次定員適正化計画を策定。この計画に基づき採用も含め定員管理を行っている。

人事評価制度の導入実績は

岡人材育成や職員の士気高揚目的とした人事評価制度を導入し、労働力生産性の向上に努めているのか。岡崎課長 24年度より実施している。評価適正化会議で評価の標準化、適正化に努めながら人材育成に寄与している。

岡人事評価制度を積極的に活用してもらいたい住民サービスに繋がって欲しいが、町長は毎月昼休みを時間延長させ、職員の誕生食事を実施しているが、費用はどうしているのか。岡崎課長 各個人の判断で、費用は各自支出している。

岡昼休みを時間延長してまで平日に誕生日会を行う事に対し、住民の理解が得られるのか。岡崎課長 時間休をとって相互理



解を深める場があつて良いと思う。岡長 誕生日会名目で職員のメソナルケアを目的に12時から14時まで毎月10名程度参加している。

岡職員の意見交換は、勤務中会議室で行うか時間外で可能であり、住民の期待や信頼に応える行動とは思われない。高い職業倫理感を持つ必要があるが。岡長 過去、様々な問題が発生、不正もあつた。昼休みにケア、フオローすることも大事である。

大多数の町民が反対していると考えられる大池公園整備事業は

岡費用対効果として、将来負の資

岡考えにへだたりがあり大多数の反対意見を把握していないようにだが、この全体計画と総事業費は。永野課長 第1段階は園路整備。第2段階は民設民営、企業誘致。第3段階は第2段階の整備状況を見ながら人道橋の是非を検討。今後の整備方針として園路整備事業約7億7千万円である。

岡坪根町長 無計画に「道の駅」や「げんきの杜」を作ったことにも問題がある。「道の駅」については、年間1千万以上赤字が出ていたが、それを立て直すために2年間で大黒字になった。このように抜本的な計画を立てなければ改革はできないと思っている。